

第2部

町田市の特別支援教育と 学びの場について (中編)



町田市教育委員会
教育センター就学相談担当

第2部 町田市の特別支援教育と 学びの場について

前編

1 町田市の特別支援教育とは

中編

2 通級指導学級

(サポートルーム、ひとみ・きこえ・ことばの教室)

後編

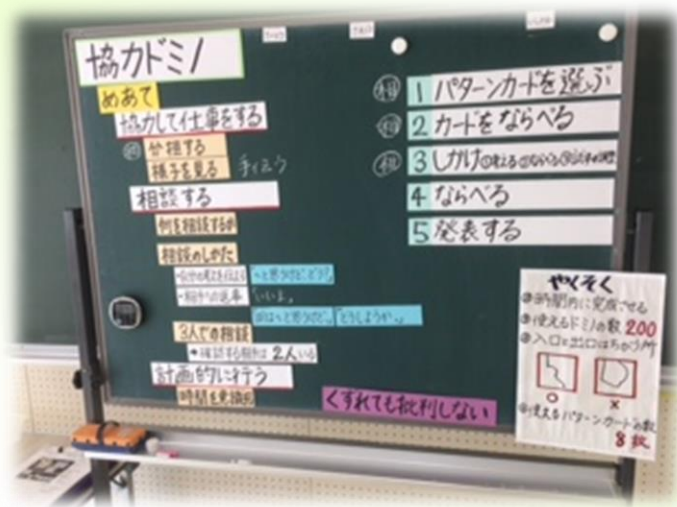
3 特別支援学級

(知的障がい、自閉症・情緒障がい、肢体不自由)



資料 「町田市の特別支援教育(学校一覧)」、「新たな学校づくりにおけるサポートルーム・通級指導学級の
拠点校変更について」「各学級案内リーフレット」をご参照ください。

2 通常の学級に在籍しながら通う 特別支援教室・通級指導学級



サポートルーム

ひとみの教室

きこえの教室

ことばの教室

通級指導学級について

指導担当教員がお子さんの在籍している
小学校へ訪問して指導を行います



お子さんは自分の学校
で指導を受けます



週1回程度、通常の授業を抜けて
指導を行います
抜けた分の補習はありません

指導の曜日・時間は
指導担当校が決定します



① 特別支援教室

(サポートルーム)



拠点校 (2025年度・17校)

お子さんは、自分の学校で指導を受けます
(教員が各学校へ巡回し指導します)

町田第二小	町田第三小	町田第四小	藤の台小	つくし野小	小川小
成瀬台小	成瀬小	鶴川第二小	鶴川第三小	大蔵小	忠生第三小
山崎小	小山田南小	図師小	小山中央小	相原小	

※学校統合に伴い、2026年度から一部拠点校の変更および巡回先の変更があります
詳細は、資料「新たな学校づくりにおけるサポートルーム・通級指導学級の拠点校
変更について」を参照ください

＜対象となる子ども＞

全般的な知的の遅れはないものの、次のような特性の
ために、通常学級での学習や生活に一部困難がある
お子さん

- ・発達のアンバランス、不注意・多動など
(自閉スペクトラム症、学習障がい、ADHDなど)がある
- ・社会性、言語能力、情緒面などの問題により、対人関係や集団への
適応に困難さがある



サポートルーム

<指導の内容>

個別での指導

- ・一人一人の発達課題に応じた学習
- ・学習を円滑に行うための学習



小集団での指導

- ・ソーシャルスキルトレーニング
- ・学び合う姿勢と態度



サポートルーム

<個別での指導>

それぞれの課題に応じた学習に取り組めます

視機能の向上

ビジョントレーニング

ボディイメージ

協応動作



作業

ひも結び

聞き取り

聞くワーク

短期記憶

フラッシュカード

サポートルーム

<小集団指導例>

○ソーシャルスキル・トレーニング

自分の気持ちを言葉で表現したり、
自分の感情や行動をコントロールしたり、
状況に応じて適切な行動を模索していくことを知る学習

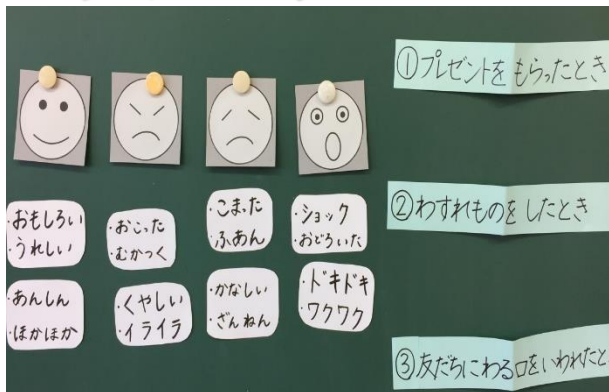
何と言え
うまく伝わる？



こうなったら
どう思う？

⇒ 具体的な場面設定やゲームで、考えたり、意見を聞いたりして学習します

○マッチング



どんな気持ち？
表情と気持ちの言葉をマッチングする
人によって感じ方が違うことを知る

サポートルーム

② ひとみの教室

(弱視学級)



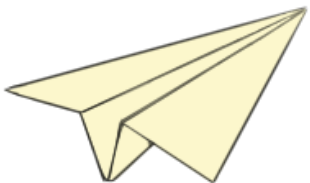
拠点校

拠点校	巡回先の小学校
南第三小	市内各小学校



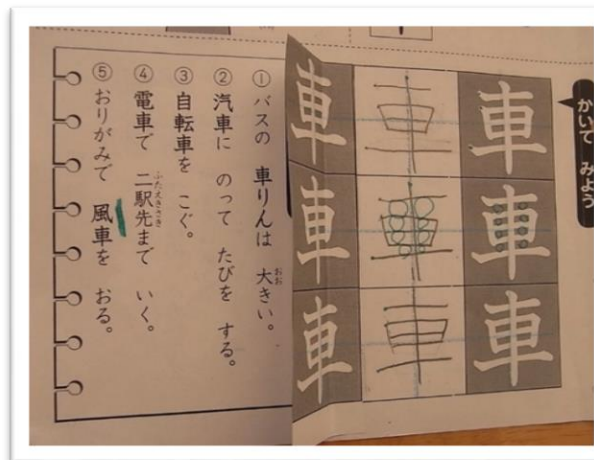
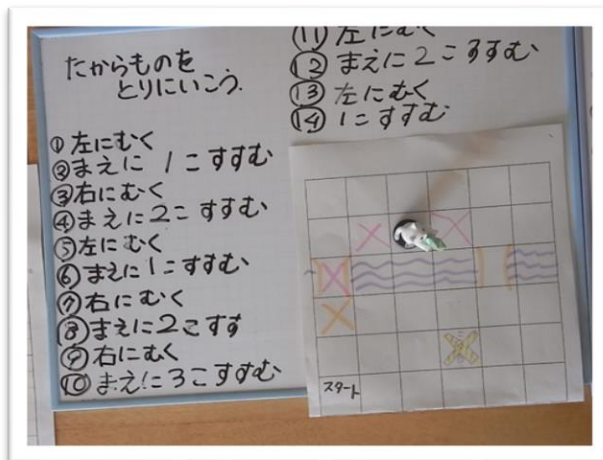
<対象となる子ども>

- ・ 教室の前方の席でも黒板の字が見えにくい
- ・ 眼を極端に近づけてものを見る
- ・ 暗い(または明るい)場所で見えにくい
- ・ 手先を使う作業、ボール遊びや釘打ちなどの遠近感・立体感を必要とする動作が苦手



<指導の内容>

- ① ものの見方を学ぶ
- ② 目と手を使った作業の技能を身に付ける
- ③ 身体の調整力を伸ばす
- ④ タブレットなどの機器を活用する
- ⑤ 聴覚を十分に活用する
- ⑥ つまずきやすい教科の補充



ひとみの教室

ひとみの教室では



- 学級や集団生活の中での戸惑いや不安感などの心理的なフォローをしています
- ひとみの教室の児童の交流を深めるために、学期ごと、夏休みに交流会を行っています
- 通常の学級において、読み・書きに困難を感じているお子さんに、弱視教育の観点から支援することも行います

ひとみの教室

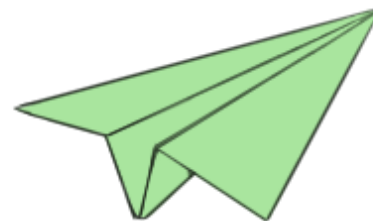
③ きこえの教室

(難聴学級)



拠点校

拠点校	巡回先の小学校
南第三小 山崎小	市内各小学校



<対象となる子ども>

- 耳の聞こえが不十分である
- 音や声は耳に入っているが、どのことばに注目していいのかが分からない
- 聞くことに集中できず聞きもらしてしまう
- 教室内の様々な音が同じ強さの刺激として入ってきてしまう

きこえの教室

<指導の内容>



- ①保有している聴力を十分に活用して聞く力を伸ばす
- ②傾聴態度を身に付ける
- ③聞こえの課題を正しく受け止め、自ら乗り越える力を育てる
- ④教科学習を理解しやすくする指導

きこえの教室では



- 巡回による個別指導と、通級によるグループ指導を行っています
- コミュニケーション力を高めるために、難聴児同士の心の交流を図るグループ指導を行っています



きこえの教室

④ ことばの教室

(言語障がい学級)



拠点校

拠点校	巡回先の小学校
町田第四小 成瀬中央小	市内各小学校

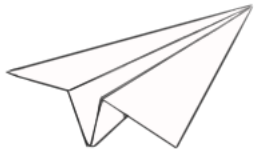


<対象となる子ども>

- ・ 話し言葉で発音や話し方に誤りや歪みがある
- ・ 吃音がある

話そうとしたときに、力が入ったり、つまったり、同じ音を続けて発音してしまうなど、会話がスムーズにできない

- ・ 話すことに苦手意識があり、発表などを嫌がる



ことばの教室

<指導の内容>

- ①唇・あご・舌の運動機能を高める
- ②吹く、吸う、息を出す練習をする
- ③話すリズム、強弱、スピードについての練習をする
- ④正確に音を聞き分け、自分の誤りに気づき、正しく発音できるようにする
- ⑤自分の発語の様子を振り返り、吃音に対する不安を軽減する



ことばの教室では

- 原則として個別指導を行います
- 緊張感を軽減して、楽な話し方を身に付け、話すことへの不安を解消します
- ことばの教室の児童の交流を深めるために学期ごとに交流会を行っています



ことばの教室